

令和7年 第10回

羅臼町教育委員会議事録

令和7年第10回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和7年9月24日（水） 13時30分～14時20分

2 場 所 羅臼町役場3階5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	葛 西 良 浩
委 員	佐々木 美 穂
委 員	小 林 真裕子
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	八 幡 雅 人
社会教育課長	長 岡 紀 文
総務管理係長	櫻 庭 千 尋

4 欠席者

委 員	芦 崎 拓 也
-----	---------

5 傍聴者

なし

6 議 題

報告 第15号 諸会議・諸行事について

7 その他

## 【開 会】

### ○石崎教育長

令和7年第10回教育委員会を開催致します。

本日は、芦崎委員が欠席となっておりますが、私を含め4名の委員の出席がありますので会議は成立となります。議事録署名委員の指名ですが、佐々木委員と小林委員にお願い致します。

議事の確認をさせていただきます。報告事項として、報告第15号「諸会議・諸行事について」の1件とさせていただきます。

議事に入る前に行政報告をさせていただきます。

私は和田教育長の残任期間として、令和4年4月1日に教育長になり、令和4年9月30日までの第1期を終え、令和4年10月1日から令和7年9月30日までが第2期となっています。先日行われました9月9日の定例議会で議員の皆さんの承認を得て、第3期目を迎えることになりました。任期は令和7年10月1日から令和10年9月30日までの3年間となっておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

地域みらい留学の関係ですが、6月21日から22日の期間で東京都の会場で1回目のPR活動を行っています。8月23日から24日には同じく東京都の会場で2回目のPR活動を行いました。また、おためし地域留学として8月29日から31日の期間で、全国から10名の中学生が来町し様々な体験をしました。先日、ZOOMで振り返りを行ったところ、大変評判が良く、また羅臼町に来たいという肯定的な声が多くありましたので、手ごたえを感じています。6月と8月の合同説明会には四ツ屋主事が参加しています。8月のおためし地域留学は福田係長が対応しています。また、羅臼高校の古屋校長、八幡課長も関わりながら進めています。合同説明会とおためし地域留学の報告資料は出ていますので、教育委員の皆さん全員が出席した際に改めてご報告させていただきたいと思っています。

その他の部分で横澤主幹には、9月7日から9日に当町の幼小中の教諭と視察をした、認定こども園と義務教育学校が一緒になっている福島県大熊町立学び舎ゆめの森という学校について報告をしていただければと思います。羅臼町の取り組みの追い風になるアドバイスをいただいた視察だったと聞いています。

9月9日から11日の期間で第3回定例議会が開催されました。5名の議員から一般質問がありましたが、教育に関する質問はありませんでした。事前の懇談会等で説明をしていましたので、議員の皆さんにご理解をいただけたと思っております。

行政報告は以上とさせていただきます。それでは議事に入ります。

## 【議 事】

### ●報告 第15号 諸会議・諸行事について

#### ○石崎教育長

報告第15号「諸会議・諸行事について」担当から説明をお願いします。

#### ○学務課長

議案の1ページをお願い致します。報告第15号「諸会議・諸行事について」報告をさせていただきます。議案の2ページをお願い致します。10月から11月までの主な予定を記載しています。

学務課所管事項です。10月6日から8日にスクールカウンセラーが来町します。10月7日に学校教育指導監訪問が各小学校で行われます。10月8日は定例校長会議を開催します。10月20日から24日に羅臼高校の見学旅行が行われます。目的地は関西方面ということです。10月21日に定例教頭会議、定例園長・副園長会議を開催します。10月26日に羅臼小学校の学習発表会が行われます。10月の定例教育委員会は29日を予定しています。11月5日に定例校長会議を開催します。11月6日に管内人事推進会議、女性活躍推進会議、働き方改革推進会議が開催されます。11月11日に定例教頭会議、知床学士試験を行います。11月12日に定例園長・副園長会議を開催します。11月14日に羅臼小学校で指導主事要請訪問が行われます。11月17日から19日にスクールカウンセラーが来町します。同じく11月17日から19日に葵学園の丸山先生が特別支援の関係で訪問されます。11月18日に丸山先生に講師をお願いし、教員と保護者を対象とした特別支援教育研修会を開催します。11月25日には知床学士認定制度運営委員会を開催します。11月の定例教育委員会は26日を予定しています。11月29日から30日にはアフタースクール・羅科フェを春松小学校で行います。学務課所管事項は以上でございます。

#### ○社会教育課長

議案の2ページから3ページをお願い致します。社会教育課所管事項です。10月2日、17日、28日にこまぐさ学級を開催します。10月2日、9日、16日、23日から24日、30日、11月5日、13日、20日、27日に水産教室を行います。10月5日に第32回クナシリ眺望駅伝競走大会を開催します。参加チーム数は、前年より3チーム多い16チームとなっています。10月16日から17日に北海道公民館大会が網走市で開催されますので、社会教育委員2名及び事務局2名の4名で参加する予定です。10月18日に知床 kids で羅臼湖散歩を予定していますが熊の関係で中止する場合があります。10月31日に総合運動公園をクローズします。10月31日から

11月3日までの期間で第54回羅臼町総合文化祭をらうすぽを会場に開催します。

図書館所管事項です。10月18日から19日に図書館まつりを開催します。図書館まつりの一環として、絵本作家のサトシンさんをお招きし令和7年度本との出会い講演会を行います。11月17日には根室・釧路管内図書館協議会地方研究集会が別海町で開催されます。

郷土資料館所管事項です。10月25日に郷土資料館を会場に日本遺産シンポジウムを行います。11月1日にユネスコに関する知床圏4高校フォーラムが清里町で開催されます。以上でございます。

○石崎教育長

報告第15号「諸会議・諸行事について」説明がありました。ご意見やご質問等ありましたらお願い致します。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

クナシリ眺望駅伝競走大会の参加は前年から3チーム増え16チームということですので。徐々に参加が増えていくことを期待しています。

○社会教育課長

参加チームの内訳ですが、小学生男子が1チーム、小学生女子が1チーム、中学生男子が2チーム、中学生女子は参加なし、高校生を含めた一般男子が4チーム、一般女子が1チーム、ミックスが7チームとなっています。ミックスが男女や子どもと大人ということです。

○石崎教育長

ミックスは、部活や少年団が多いということですか。

○社会教育課長

少年団の他、有志のチームもあります。

○石崎教育長

一つの団体で、小学生、中学生、指導者ということであればミックスということになります。

○社会教育課長

人数を集め、ミックスで参加するチームが多くなっています。

○石崎教育長

前年よりも参加チーム数が増えたことは大変嬉しく思っています。

羅臼高校の見学旅行の目的地についての報告がありました。関西方面ということですので万博の見学ができるのかと思いましたが、万博が閉幕してからの日程ということです。東京に行くよりもお寺等を見る機会を無くさないようにしたいというところは、古屋校長と私の共通の考えです。大阪、京都、奈良の歴史と文化を見てきてほしいと思っています。

報告第15号「諸会議・諸行事について」は承認とさせていただきます。

以上で議事は終了となります。

## 【その他】

### ●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について説明をお願いします。

○横澤主幹

今回は「頭のいい人だけが解ける論理的思考問題」のあとがきの一部をご紹介します。

世界一難しい問題？ 発端は2018年の中国でした。小学校5年生の算数のテストで出題された「とある問題」です。

ある船に、ヒツジが26頭、ヤギ10頭が乗っています。この船の船長の年齢は？

先に言っておきます。問題文に誤りはありません。

問題を解こうとした生徒のうち1人は、以下のように回答しました。

船長は大人でなければならないので、少なくとも18歳である。

中国最大のSNSであるウェイボのユーザーの1人は、以下のように回答しました。

それぞれの動物の平均体重を考慮に入ると、26頭のヒツジと10頭のヤギの合計重量は7,700kgである。中国では5,000kgの貨物を運ぶ船を運転する場合、5年間ボート免許を保持し続けなければならない。ボートの免許を取得できる最低年齢は23歳。ゆえに船長は少なくとも28歳である。

いずれの回答も説得力がありますが、年齢を断定するには至りませんでした。では、いったい正解はなんなのでしょう？それは、こちらです。

「わからない」

正解は「十分な情報がない」「わからない」ですが、なんと75%以上の生徒が「 $26 + 10 = 36$ 歳」と答えました。数字を使って「それらしい正解」を作り上げて答えるという行動をとったのです。

中国当局がこのようなコメントを出しました。

我が国（中国）の小学校の生徒は、数学に関して重要なことを見落としている。調査によると生徒達は、数学に疑問を抱く意識と批判的精神が無い。この問題は、学生の質問意識、批判的意識、数学的問題とは無関係に考える能力があるかどうかをテストしている。

これは算数の問題なのだから、必ず答えがあるはずだ。ならば、問題文の要素を使えば正解が導けるはずだということで答えを出しています。しかし、この世の全ての問題において、必ずしも答えが用意されているとは限りません。不条理な問題が出てきたと

き、「答えられない」が正解になることもあります。これらの「答えのない問題」は、その現実を教えるために出題されたのです。すぐにあきらめるのではなく、じっくり考え、取り組む力は大切です。ですが、「考えるのをあきらめる」以上に、やっではならないことがあります。「無理やり答えを出す」ことです。テストなら減点になるだけで済みますが、現実の問題に無理やり答えを出してしまうと、取り返しのつかない結果になることもあります。じっくり考えた結果、「わからない」のであれば、それが論理的な答えです。思考を尽くしても答えがわからなかったとき、それは考えることをあきらめたのではなく、「わからない」という答えを出したということです。その答えを認める勇気を持つことも、不確実性の高い現代を生きる上で重要なことだと私は思います。あらゆる思い込みや常識の罫から抜け出し、問題を適切に分析して最適解に辿り着くための思考方法。「論理」という大きな武器の存在をということです。

学力・学習状況調査の問題で無回答、空欄が多いと言われ、指摘を受けていた時期がありました。全国の学校では無回答を減らす指導をしていましたが、間違いだったのかもしれませんが。無回答率が高くなると問題があると捉えられてしまいがちですが、今後の校長会議、教頭会議で今回の主幹通信の内容を伝えたいと思います。

全国学力・学習状況調査の資料をご覧ください。羅臼町の結果の報告です。小学校の結果が全道平均、全国平均を下回っています。質問調査の状況の資料をご覧ください。調査結果の分析です。小学校において、個別に学習を進める場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレット等のICT機器をほぼ毎日使用したことにより、自分のペースで理解しながら学習することができると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。中学校において総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。小学校算数平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数〔数学〕の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つと考えられる。一方で中学校数学の平均正答率が全道を上回っている状況は、授業改革が進んだことにより、算数〔数学〕の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っていることが要因の一つとして考えられる。今後の改善方策は、児童生徒が教科書の内容を読み取り、教科書を使って、自学自習できるようになるため、教科書の構造や読み取り方の具体的な指導の推進。自分の考え方を整理したり、メタ認知を高めたりできるよう、振り返りの時間の工夫の推進。知識技能を確実に身につけるために、定着の時間と活動の計画的な位置付けの推進。この内容を全国学力・学習状況調査の羅臼町の結果報告に記載する予定となっています。

一貫教福島県大熊町・双葉町視察研修の報告をさせていただきます。福島県の大熊町と双葉町は太平洋に近く、福島第一原発にも近い地域です。日程は9月7日から9日、参加者は各幼小中から1名ずつに私を加えた6名です。仙台市内に宿泊しレンタカーで



の高速道路を移動中に突然大きな建物が見え、学校とは思えない外観でしたが、その建物が大熊町の学び舎ゆめの森でした。高速道路を降りてこの建物は何ですかと聞きに来る人もいます。大熊町大河原地区は2019年3月まで帰宅困難地域でした。この学校は大熊町の住民の多くが避難していた会津若松市で2022年に開校し、2023年度2学期から大熊町の現校舎を使用しています。認定こども園と義務教育学校の一体型施設ですので、0歳から15歳までが一つの建物で学んでいます。現校舎の総工費は56億円、国の補助金と東電の補償金が大半を占めているということです。校舎の2階からは福島第一原発が見えます。グラウンドは全面人工芝になっており、運動会当日の朝まで雨が降っていても問題なく運動会を開催できるそうです。認定こども園の園児は38名、義務教育学校の児童生徒数は56名です。この地域に住民票がある子どもの人数は1,200人くらいいるそうです。住所を置いたまま避難をしている住民が多いということです。義務教育学校の56名の中には移住者も含まれています。良い環境で勉強させたいという保護者が移住しているということです。移住してきた児童生徒の中には不登校等を経験しているお子さんもいるそうです。校舎の案内をしていたのは、町教委主幹兼指導主事の臼井氏でした。臼井氏は今年の3月までこの学校の教頭でした。非常に詳しく説明していただくことができました。自由進度学習だけではなく、普通に各学年単位の授業も行っていますが、子ども達は校舎内で自由に学習をしていました。凄いと感じたことは、小学校3年生くらいの児童と、中学校2年生くらいの生徒が教え合いながら一緒に勉強をしていました。認定こども園と小学校間の架け橋期のカリキュラムは作られていませんでした。時間を見つけ、幼稚園と小学校の先生が打ち合わせをしているので連携は取れているということです。校舎はいろいろな形の部屋が組み合わせられた構造で、長方形の部屋はほぼありませんでした。次のページの平面図をご覧ください。校舎を上から見ると複雑な形の部屋を組み合わせ一つの建物になっていることがわかると思います。視察者は教育関係者のほか、建築科在学の高校生、設計デザイナー、建設業者と多岐にわたっているそうです。また、この日は背中に「能登復興」とプリントされたTシャツを着た方々も視察に訪れていました。今回の視察で最も印象に残ったことは、案内をしていた臼井氏から、仮に校舎を建て直すとしたら、認定こども園と義務教育学校の職員室を一つにしたいという言葉がありました。認定こども園と義務教育学校の職員室は対角線上にあり、校舎内の離れた位置にあるためです。羅臼町は幼稚園と小学校の職員室を一つにします。その取り組みは間違いではないと大変勇気をもらうことができました。素晴らしい施設を見せていただきましたが、連携に関しては、羅臼町の方が進んでいると感じたところです。

双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館の視察も行いました。入館後にオリエンテーションとして震災に関する映像を見せていただきました。ナレーションが亡くなった福島県出身の西田敏行さんでした。この町が完全に復興するときには、私は生きていないというコメントが印象に残りました。館内は震災に関するものが多く展示されていま

した。数年に一度は訪れて思い出さなければならぬと感じました。語り部は自主避難をされていた方でした。「原発は何が起こっても絶対に安全だ」という原発に対する信頼は大きなものだったということです。万が一、地震や津波の被害があったとしても、絶対に安全だと言い聞かされてきたそうです。東日本大震災・原子力災害伝承館の屋上から撮影した写真をご覧ください。復興途上ということですが伝承館の周囲には建物が無いという状況でした。

先生方は勉強になり、大変良い視察研修になったと思います。

○石崎教育長

視察の中で、校舎を建て直すとしたら職員室を一つにしたいという言葉があったということを横澤主幹から聞いたときは、本当に嬉しく思いました。羅臼町内の先生方と話をする機会がありますが、職員室を一つにすることに不安を抱えている先生もいるようです。校長、教頭は、交流をしながらより良い教育に繋げていきたいと考えていますが、一般の先生方は自分達の取り組みがあるためです。一つの職員室にする意味を理解し、幼小の連携を強みにしてほしいと思っています。視察に行った先生方が、臼井氏の言葉を直接聞いていますので、その先生方からも発信していただき、良い形になっていけばと思っています。

委員の皆さんから、ご質問等がありましたらお願い致します。

○佐々木委員

先生の人数は多いですか。

○横澤主幹

加配が4名いますが、特に多いわけではありません。その人数で足りているのかと思うほどです。義務教育学校は1学年で6名前後ですが、1学年何名まで可能ですかと聞いたところ20名が限界だということです。

○佐々木委員

建物の作りから先生の人数が多いのかと思いました。建物の中央から全方向が見えることは、子ども達の様子が分かり大変良いことだと思います。

○石崎教育長

大きな施設ですか。

○横澤主幹

大きな建物でした。

○小林委員

何階建てですか。

○横澤主幹

2階建てです。2階は1階の3分の1程度の大きさです。中央が吹き抜けになっています。中庭は人工芝です。

○石崎教育長

認定こども園と義務教育学校を合わせて94名ですが、大きな建物ということは、避難している1,200人の子ども達が戻ってきても対応できる建物にしたと思います。

○横澤主幹

この町の学校は一つということです。全員が戻るとは考えていないかもしれません。

○石崎教育長

どれくらいの規模にするかという議論があったと思います。

○横澤主幹

学校の近くに、町営と思われるソーラーパネルが付いた新しい住宅が並んでいました。建設費には補助金や補償金が含まれていると思います。

○石崎教育長

他にご質問等がありましたらお願い致します。

○全委員

特になし。

○石崎教育長

他に事務局から連絡報告等がありましたらお願い致します。

○学務課長

次の第11回教育委員会は10月29日水曜日午後1時30分からを予定していますのでよろしくお願い致します。委員の皆さん全員の出席がありましたら、高校の取り組みの報告をさせていただきたいと思います。

○石崎教育長

スイッチオフ２０（２２）の情報提供をお願いします。

○学務課長

小学生と中学生にタブレットを配布しています。セキュリティ上、電源をオフする時間設定をすることができません。新しいセキュリティソフトでは時間の設定が出来るようになり、小学生は夜２０時まで、中学生は夜２２時まで利用可能とし、それ以降は利用できなくなります。先日の校長会議で時間設定の説明し承諾を得ています。利用出来なくなる時間以降は、電源は入りますがネットには繋がらない設定です。そのセキュリティソフトが入り次第、設定をする予定です。

○石崎教育長

これまでは家に持ち帰り、YouTube 等も見ることが出来る状態でしたが、今後は、小学生は夜２０時まで、中学生は夜２２時までには利用可能にします。

委員の皆さんから全体を通してのご意見、確認事項がありましたらお願い致します。

○全委員

意見、確認事項は特になし。

○石崎教育長

以上で令和７年第１０回教育委員会を終了させていただきます。